

令和5年7月11日
東北森林管理局

令和5年度第1回東北森林管理局国有林材供給調整検討委員会の開催結果について

林野庁東北森林管理局では、需要急変時における国有林材の供給調整機能を発揮させるため、供給調整の必要性や調整を実施する際の方法等について、学識経験者、森林林業関係者、木材産業関係者から御意見をお伺いし、今後の国有林材の供給調整に役立てる取組を行っております。

この度、標記委員会を下記のとおり開催致しましたので、当局ホームページで概要等を公表致します。

記

- 1 日 時 令和5年6月15日（木） 15:00～17:00
- 2 開催場所 東北森林管理局 2階 大会議室
(秋田市中通五丁目9-16)
- 3 検討結果 木材需要において木造戸建を中心とした住宅実需の低迷が長引くとともに流通在庫の調整が続く中、管内の製品・原木流通は依然として停滞している。各合板工場では減産体制を継続しており原木の受入量を制限しているほか、集成材・LVL工場においても適正在庫を維持するため原木の受入調整を行っている。
原木価格は、集成材・LVL工場や合板工場における製品価格の引下げの影響を強く受けており、これに加えて生産調整・入荷制限が行われていることから、山元の再生産が難しくなる水準まで低下が進んでおり、深刻な状況にある。
このような状況から各素材生産事業者は自山の伐採に見切りを付けて、例年より早く造林、保育、生産請負の作業に移行しており、今後の出材量は大幅に減少すると推測される。
併せて、今後は虫害発生時期となることから、材が劣化することのないよう早期販売への意見も出されたところである。
今後の見通しとしては、需要の回復が依然不透明なことから、素材及び製材品は受注が低調で推移するものと予想されている。

また、秋田県能代市に建設中の大型製材工場が今秋から原木の集荷を始める予定とされており、この動向も注視する必要がある。

以上のことから、国有林に対しては、「引き続き管内の市況や需給動向を注視し、必要に応じて原木及び立木の供給調整を柔軟に行うことができる体制を維持していくよう求める。」と報告する。



国民の森林・国有林

お問い合わせ先

林野庁 東北森林管理局 森林整備部 資源活用課

担当者：企画官（木材需給対策）

電話：018-836-2496（直通）

林野庁